

NPO法人 自立生活センター STEPえどがわ 会報

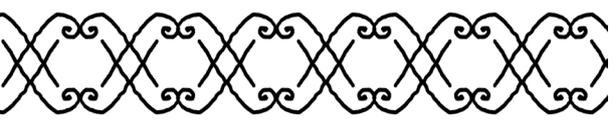
# STEPっ子パラダイス all for ワ ダソー!!

えぬピーおーほうじん  
じりつせいかつせんたー  
すてっぷえどがわ  
かいほう  
すてっこぱらだいす  
おーるふおあわんだふおー

ねん がつごう  
2018年10月号



先日、N C I Lでユース代表をしていたアリーが来日しました。IL運動の世界で有名なアリーのことは、前から耳にしていたのですが会うのは初めて！ドキドキ！私は夕食会に参加したのですが、目を見て真剣に話を聞いてくれるアリーが一瞬で大好きになりました。言語も違う、障害の種類も違う、でも「社会を変えたい」その思いは一緒です。アリー、会えてよかった！！

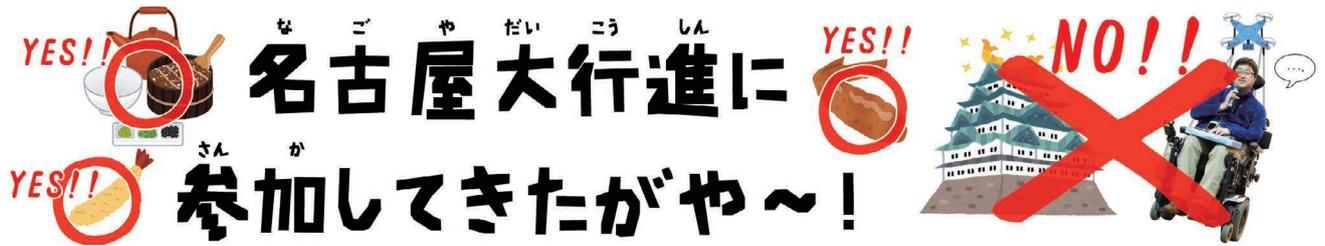


# 目次

も く じ



なごやだいこうしん <small>さんか</small> 名古屋大行進に参加してきたがや～！……………	2
とうきよう <small>きょういく</small> 東京インクルーシブ教育プロジェクト (TIP) で講演してきました。…	4
とうぶちくぼうさい <small>しどう</small> 東部地区防災クラブ始動！……………	5
2018 えどがわボランティアフェスティバル <small>さんかほうこく</small> 参加報告……………	8
な と う - き い <small>せかい しーあいえる</small> N a t s u k i が行く！世界のCILとつながろう……………	9
あいえるびー <small>あつとみずえ</small> ILPリーダーズ@瑞江……………	11
ねんめ <small>さがみはらじけんついでしゅうかい</small> 3年目の相模原事件追悼集会……………	12
すずね <small>しゅわ</small> 鈴音の手話コラム……………	15
とうきよう <small>いん かさいりんかいこうえん</small> 東京バリアフリービーチ in 葛西臨海公園……………	16
すてっぷ <small>なつやす じゅうけんきゅう</small> <small>ひと</small> STEPの夏休み自由研究 あこがれの人にインタビュー！……………	18
だい <small>かい</small> 第28回リサイクルワールド・IN・東部 <small>いん とうぶ</small> 出店レポート <small>しゅってん</small> ……………	21
とうきようとしようがいしゃ <small>りかいそくしんおよ さべつかいしよう すいしん かん</small> <small>じょうれい</small> 東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例について…	22
<small>かんきようせいぎよそうち</small> <small>おんせい かでん そうさ</small> プチ環境制御装置！？ 音声で家電を操作してみた……………	24
ついで <small>よしもとりゅうじ</small> 追悼・良元竜次さん……………	27
<small>かいいんぼしゅう</small> 会員募集……………	30



くどう としこ  
工藤 登志子

が 6月19日(水)、愛知県名古屋市にて行われた「名古屋城木造天守にエレベーター設置を実現するアピール行動(名古屋大行進)」に、STEPえどがわの当事者スタッフ、コーディネーター、介助者の計9名が参加してきました。

名古屋市長が発表した名古屋城再建計画でのエレベーター未設置問題はすでに多数のメディアでも取り上げられています。このニュースを見る度に、「本当にこれが現実なのか？」と疑いたくなるようなことばかり・・・。障害者や高齢者等、移動に困難を抱える人のことは全く考えられていない上に、エレベーター設置の代替案として出されているものが当事者の意見を無視しており、凄まじくおかしいのです。

“車いすごとドローンで飛ばす”!?

“ロボットスーツを装着する”!?!?

“クレーン車で運ぶ”!?!?!?

等等。

名古屋へ向かう新幹線の中では、イケメンヘルパーさんに興奮気味だった今村代表↓



えっと、、、これは何かの大喜利ですか?

いや、全然笑えませんよ、市長・・・。(～\_～)

来訪者が名古屋城より目立っちゃってど～

すんの! 私たちは見世物じゃない!!!

障害者をまるで「物」のように扱う考え方に、

私は恐怖すら感じます。

日本は2013年に国連の障害者権利条約に批准し、「他の者との平等」を基礎とした全ての人が保障されています。また、2016年4月1日に施行された障害者差別解消法でも「全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、

相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進すること」を目的とし、障害に基づくあらゆる差別を禁止しています。これらの社会的な流れから見ても今回の名古屋城エレベーター未設置問題は、階段が使えない人を「排除」しており、時代に逆行しています。

この日のデモには全国各地から550名を超える人々が集まり、エレベーター設置を求める抗議活動を行いました。抗議活動は久屋大通公園でのスピーチから始まり、その後久屋大通公園から名古屋城までの約3kmをシュプレヒコールをあげながら行進しました。デモ行進が終わってからは名古屋市役所へ移動し、市役所を取り囲むようにして名古屋市長へのアピールを行いました。デモが終わった後も、地元の当事者たちは市役所前で48時間のハンガーストライキを行っていました。炎天下の中、これだけの大人数の人々が体力を消耗しながらも身を削って抗議活動を行ったのは、「全ての人に優しい名古屋市、日本になって欲しい」という共通意識に他なりません。障害者権利条約に批准し、障害者差別解消法も施行されている現在の日本で、福祉や人権意識が後退するということはあってはならないことで、障害者のみならず全ての人々が声を上げていかなければならないことだと思えます。

STEPえどがわでも引き続きこれらの活動に賛同し、全力で取り組んで参ります。



# とうきょう 東京インクルーシブ教育プロジェクト(TIP)



たなか すずね  
田中 鈴音

6月23日 土曜日、三鷹で行われた東京インクルーシブ教育プロジェクトの  
障害当事者会、「視覚・聴覚障害者から考えるインクルーシブ教育」というのをテー  
マにゲストとして招待いただき参加してきました。

休日ということもあり、今回の手話通訳は2人の学生が協力してくれました。  
STEPからは中曽根さんが応援に駆けつけてくれました！感謝！

私がこの日、お話しさせていただいたのは、自分の小学校・中学校時代を中心  
に学校生活の様子や、どんなサポートを受けていたか、聴覚障害のある子どもが  
通常学校・通常学級に通うためにはどんなサポートが必要かということです。

3歳の時に障害が発覚しそれから8年間言語聴覚訓練に通っていたこと、幼稚園から  
今まで聞こえる子たちと一緒に学んできたこと、小学校の6年間は支援員をつけて  
ノートテイクなどのサポートを行ってもらっていたが、中学・高校では一人で先生の  
口元を読むなど工夫して授業を受けていたこと、今通っている大学ではスクーリング  
の時には手話通訳、パソコンテイクを必ずつけているということなどをお話ししまし  
た。

私と同じように重度の聴覚障害があっても、聞こえない子たちが集まるろう学校だ  
けではなく、もちろん普通学級で聞こえる子たちと一緒に学ぶこともできます。その  
ためには何が必要なのか、どんな環境がに必要なのか、参加者の皆さんと一緒に考えま  
した。具体的なサポートとしては席の配置を本人にとって一番良い場所にするこことや  
黒板を見ながら話すと口元が見えなくなり口話が読めないので話すときは必ず前を向  
く、チャイムの音に反応してフラッシュする機器を設置するなどがあります。私は聞  
こえる子たちと一緒に学んでよかったと思っていますし、同じ障害を持つ子どもたち  
が通常学校を選んでも楽しく学べるような環境を作りたいと思っています。  
みなさんも、聴覚障害児や視覚障害児のインクルーシブ教育についても一緒に考えて  
みませんか。

# 備えあれば憂いなし！ 東部地区防災クラブ始動！

略して「TBC」

いちかわ ひろみ  
市川 裕美

わたし すてっぷ ぼうさい とく く はじ  
私がSTEPで防災に取り組み始めたきっかけは

ねん へいせい ねん がつ にち にち じ ふん はつせい のとじしん  
2007年（平成19年）3月25日（日）9時41分に発生した「能登地震」

その日、自宅直ぐ近くの利用者宅に9:00～21:00の介助で入ったばかりの時でした。東京は全く揺れもせず、ニュースでその事実を知ったのですが、その時私は「もしこれが東京だったら・・・日曜で事務所はクローズ。私は利用者さんを見捨てて帰るわけにもいかないし、他の利用者さんの安否も気になるし誰がどのように動くのか何も決めていないし・・・」と、いつか訪れてしまうかもしれない「Xデー」を不安に感じ、災害時の対応を決めておかなければ・・・と思った事がきっかけでした。



とは言うものの、わからないことだらけで、考えれば不安ばかりで何からどう手を付けて良いものか??そんな矢先、平成20年9月に幹福社会主催の介護事業所向け防災の研修会に参加しました。不安しかなかった気持ち、とりあえずやれる事から少しずつでも始めてみよう、まずは「担当者」を決めて会議を開き、江戸川区の

しゃかいふくしきょうぎかい じよせい さいがいようひん あんびかくにん  
社会福祉協議会からの助成をいただいて災害用品をそろえ、安否確認システムを  
シフト作成のシステムに組み込んでもらい・・・利用者さん、ヘルパーさん双方に  
ぼうさい かん おこな みな ぼうさい  
防災に関するアンケートを行って皆さんの防災に  
たい じゅんび ふあん おも こと じょうほうしゅうしゅう  
対する準備や不安に思う事などの情報収集をし  
ヘルパー研修会で本所消防署の災害体験に行くとい  
いう機会も設けました。後で気付いた事ですが、  
なんとその日は平成22年3月11日。まさに東  
にほんだいしんさい ねんまえ なん ぐうぜん  
日本大震災のちょうど1年前。何て偶然なんですよ  
う！



2011年（平成23年）3月11日 14時45分 東日本大震災発生

エレベーターが停止し帰宅困難者が出た事、当日は深夜遅くまで交通網がマヒし、電話の連絡もままならない状況だった事などがあつたけれど、幸いにも停電にはならず大きな被害もなく介助の調整もなんとかできたので乗り切る事ができました。

それから数日後、福島の方たちが戸山サンライズに広域集団避難してくるという事でTIL（東京の自立生活センター協議会）のメンバーが集結し、交代で避難者の支援に入りました。JILの本部では早々に被災地支援本部を立ち上げ、衛生材料や経管栄養食などの支援物資をかき集めたり、ヘルパー派遣の為にガソリンを届けたり、各地で募金活動を行なったり。翌月初には、同じ請求システムを使っている東北の事業所の請求業務を手伝ったりもしました。各自の出来る事を、出来る形で支援していきました。

その頃は支援と共に自分たちの事も改めて考えなおさなければと災害時マニュアルの見直しをしたり、備蓄品を増やしたり、定期的にヘルパー研修などで取り上げたり・・・という活動を継続してきたものの、時間の経過と共に緊迫感が薄れ日々の雑務に追われなんとなく中途半端なままに経過していきました。

今年になって突然の電話。瑞江在住の、被災地支援やその経験から防災セミナー等をお仕事としているタカさんという方から、「自分の住んでいる地元を何とかしなければ・・・と思っているのだけれど」と。その一言に、即答で「是非一緒に」という事で、東部地区防災クラブ（略してTBC）の活動が始まりました。

誰か優秀な専門家が一人で頑張れば何とかなるものではなく、地域の様々な人が繋がって地域全体にゆるく広がっていく事が大切と考え、まずはこの活動を広めていくために第1回防災ふらっとカフェを6月23日に東部区民館で開催しました。この活動には準備段階から江戸川区のボランティアセンターの方や地域住民の方も加わり、「こんな人と繋がりたい・・・」と思う方には個別に訪問させていただいたりして準備を進めてきました。

だい かい さいがいじ  
第1回ふらっとカフェ「災害時のトイレ」

とうじつ おおあめ ていいん めい めい さんか かいじょう まんぱい  
当日は大雨にもかかわらず定員30名のところ58名もの参加があり会場は満杯。グルー  
ぷにわかれトイレ ぼうさい じゅうようせい ざがく たよう ひと さいがいじ けんとう けいたい  
に分かれトイレ防災の重要性の座学や、多様な人の災害時の検討や携帯トイレのグ  
ループワークなど、2時間があつという間に過ぎてしまいました。



ちよくご がつ にち ていれい けんしゅうかい ぼうさい と あげ こうはん  
直後の7月13日に定例のヘルパー研修会でも防災について取りあげ、後半では  
ひなんくんれん ぼうさい じゅうようせい ざがく たよう ひと さいがいじ けんとう けいたい  
避難訓練として、おんぶひもや毛布を使った緊急避難、イーバックチェアーという  
かいだん お ようぐ たいけん おこな  
階段を下りる用具などの体験を行いました。



こんご さまざま じょうほう こうしん ねが  
今後も様々な情報を更新していきますので、どうぞよろしくお願ひします。

# 2018えどがわボランティアフェスティバル

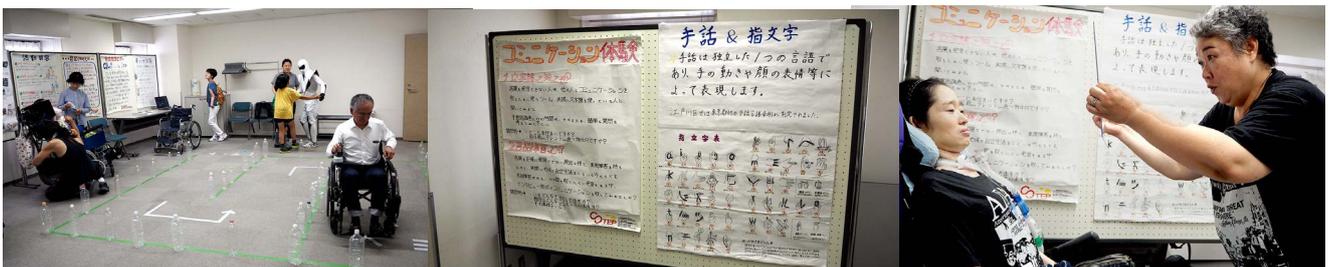
## さん か ほう こく 参加報告

なかそね ともあき  
中曾根 知明

せんじつぼう ばんぐみ とうきょうさんだい しょうかい  
先日某テレビ番組で「東京三大タワー」が紹介されていましたが、スカイツリー、  
とうきょう とうきょう なん えどがわくふなぼり ふなぼり ふく たか  
東京タワーそして何と江戸川区船堀にある船堀タワーが含まれていました！！高さ  
115メートルと決して高いとは言えないタワーですが、そんな船堀タワーのお膝元の  
タワーホール船堀にて「ボランティアフェスティバル2018」が開催されSTEPも  
さんか  
参加しました。ボランティアフェスティバルは江戸川区内で活動するボランティア  
だんたい えぬぴーおーほうじん さんか すてっぶ まな たいけん  
団体やNPO法人などが参加でき、STEPは「学びと体験コーナー」というブース  
おこな  
で行いました。

ないよう くるまいすたいけん しゅわ もじばん たいけん すてっぶ  
内容は車椅子体験、手話と文字盤によるコミュニケーション体験、そしてSTEP  
かつどうしょうかい おこな おお らいほうしゃ かた こうりゆう くるまいすたいけん お  
の活動紹介を行い多くの来訪者の方と交流をしました。車椅子体験では置いたペット  
あいだ たお せうこう おこな ふだん くるまいす  
ボトルの間を倒さないようにスラローム走行を行ってもらい、普段の車椅子ユーザー  
がどのような目線で移動しているのか、また狭いところを通るのがいかに大変なのか  
を体験してもらいました。文字盤の体験は、実際に利用している方にご協力をして頂  
たいけん たいけん ひと はじ かた さいしょ とまど  
きました。もちろん体験した人は初めての方ばかりで最初は戸惑っていましたが、ス  
きょうりよく みな つか かた りかい ことば と こんなん ひと もじばん  
タッフの協力のもと皆さん使い方を理解し、言葉でのやり取りが困難な人でも文字盤  
つか つか かいわ でき まな しゅわ たいけん ゆびもじ  
を使うことにより会話が出来ることを学んでいました。手話の体験では指文字をス  
おそ じぶん なまえ しゅわ つた たいけん じっさい ちょうかくしょうがい  
タッフから教わり、自分の名前を手話で伝える体験をしたり、実際に聴覚障害スタッ  
フからミニ手話教室のような形で手話を学んでもらいました。

すてっぶ まいとし さんか さんか  
STEPでは毎年ボランティアフェスティバルに参加していますので、来年他の  
ブースで参加するかもしれませんが、興味がある方は一緒に参加してみませんか？お  
まちしております！！





ぼりゆーむ じりつせいかつ ほうもん わたし あい ワケ  
～ vol.2: アメリカの自立生活センター訪問 私がブルースを愛した理由～

そだ なつき  
曾田 夏記

みなさんコンニチハ～！本号では、7月、曾田が訪問したニューヨークの自立生活センター「CDR」のことを書いてみたいと思います。



↑ブルースさんとナトゥーキ

ぜんべい すうひやくかしよ じりつせいかつ なか  
全米に数百箇所もある自立生活センターの中で、  
なぜCDRを訪問したのか？その理由は、ひとえに  
しーでいーあーる ほうもん りゆう  
CDR理事長であるブルースさんと再会するため  
した。全米の自立生活センターのネットワークである  
に くる にほん じ る だいひよう  
NCIL（日本のJILみたいなもんです）の代表  
をつと めるブルースさんは、にちべい じりつせいかつ  
日米の自立生活センター  
の絆を深めるべく、ことし がつ にほん  
今年3月に日本にやってきました。  
ブルースさんのひとがら ちいき  
ブルースさんの人柄と、センターでの地域における  
せいじつ と く ところ う にほんじん おお  
誠実な取り組みに心を打たれた日本人は多く、この  
なつ こんど にほんじん おとず  
夏、今度は日本人がブルースさんのセンターを訪れる  
はこ  
運びとなりました。

「日本の自立生活センターは、もっと障害種別を超えた運動をしていかないといけない」という言葉はよく聞いてきました。われらの鈴音があるSTEPでは、それはスローガンではなく、日々、考えさせられ、悩み、泣き笑いしつつ、頑張って取り組んでいることです。

来日したブルースさんから「CDRの理事12人のうち、3人はろう者で、1人は知的障害者だよ」といった情報を聞き、「多様性」を大切にしているセンターだ、という噂は聞いていました。

実際にセンターを訪問し、「ああ、本当にこれまで頑張ってきて、本当にいっしょに活動しているんだな」という印象を受けました。センターに一歩入ると、本当にいろいろな人たちが一緒にいたからです。聞こえないジョナサンがいる限りどんな

場面でも徹底して手話通訳者がいること。強い言語障害のある脳性麻痺のシェリーが抗議活動で交渉役に立つこと。知的障害のあるパムが年1回の記念パーティーにて司会をノリノリで務めていたこと。3日しかいられなかったけれど、日常の活動の場に、ひとりひとりのスタッフが役割を得て一緒に活動している様子があふれていました。

その事実以上に私の心に残ったのは、センターでのブルースさんの振る舞いでした。精神障害のある女性が抗議活動に行く前に不安が高まって泣き出していると、誰よりも先にブルースさんが「大丈夫かい？」と声をかけ、事務所の入り口まで肩を抱きながら見送っていました。日本チームが流した動画に音声ガイドがなかったところ、横に座っていた弱視の女性に、ブルースさんは小さな声で状況を説明していました。パムは、何かあると「ねえねえブルース～」といつもブルースさんに近寄り、ふたり笑顔で楽しそうに会話していました。



↑障害種別も人種も越えてみんなで抗議活動へ

全米の運動を率いるブルースさん。そのブルースさんは、私に『『運動』って、誰かひとりひとりの仲間のために何かすること、その日常の積み重ねだと思うんだ』と日本で語ってくれました。渡米し、ブルースさんのセンターでの一挙手一投足を見つめながら、きっとその言葉どおりに30年以上、活動されてきた方なんだろうなと思いました。あんな風に、ひとりひとりの仲間を大切にできるって素敵だなー。大好きになったブルースさんのような日々の活動をめざして、私もSTEPで頑張っていきたいと思います。

↓派手なCDR号。側面の手話で「自立」とドカーンと入ってます



↑自閉症のスタッフのため、白熱灯と蛍光灯を両方整備



CDRスタッフ全員集合！最初はブルースさんの自宅からスタートしたセンターは今やこんなおおきく・・・



ひるかわ りょうこ  
蛭川 涼子

あいえるびー  
ILPリーダーズは、とないきんこう じりつせいかつ  
都内近郊の自立生活センターのとうじしゃ  
当事者スタッフのサポートグループとしてはじ  
始まりました。

サポートグループとは、まな ひと ちゅうしん  
ピアカウンセリングを学んだ人が中心となって、カウンセ  
リング的なききかたとお きょうつう かだい かいけつ  
関わりを通して、共通する課題を解決しあえる関係を作ることを目的と  
します。(じりつせいかつ  
自立生活センターで働くピアカウンセラーのためのどくほん  
読本)より抜粋)  
じりつせいかつ た あ つぶ おお じりつせいかつうんどう  
自立生活センターの立ち上げが続き、多くの自立生活運動のリーダーたちが各地  
ふんとう よこ ひつよう かん あいえるびー つく  
で奮闘するなか、横のつながりが必要だと感じてILPリーダーズが作られた…  
と聞いています^^; じょうほうこうかん じぶん きも は だ ば せいり ば  
情報交換をはじめ、自分の気持ちを吐き出す場、整理する場  
としての機能を果たしてきたと思われます。じりつせいかつ  
自立生活センターの運営や事業の悩み、  
かいじょしゃぶそく とうじしゃ うんどうばな とう  
介助者不足や当事者スタッフの運動離れ等、リーダー達の悩みは尽きなかったかと  
…。

あいえるびー しちがつ かいじょう すてっぶ ようい みずえ  
そんなILPリーダーズの7月の会場を、STEPが用意することになり、瑞江の  
ち とうきょうきんこう じりつせいかつ たち あつ  
地に東京近郊の自立生活センターのリーダー達が集まってきました！

こんかい  
今回のテーマは、「相談支援とILP」。じりつせいかつ  
自立生活センターは基本的にはきほんてき  
「無料相談」  
をうけているので、そうだんの  
相談に乗る、ひと はなし き  
人の話を聞くことは昔からやっています。その相談  
から、こべつそうだん あいえるびー つな い ひと で  
個別相談(ILP)へ繋がって行く人が出てきます。「〇〇な暮らしがしたい！」  
の〇〇がまるまる じつげん いっしょ かんが じりつせいかつ だいじ やくわり  
実現できるように一緒に考えるのも自立生活センターの大事な役割です。

でも、そうだんの  
相談に乗っていると、よ かいけつさく み  
良い解決策が見つからず相談者と一緒じぶん  
に自分が迷ってしまったり、こま  
困ってしまったり、ということがあります。そうした気持ちをサポート  
グループをつう みる  
を通じて見つめようという時間です。セッションで、じぶん なに まよ こま  
自分が何に迷い困っているかをせいり  
整理し、メンバーからアドバイスをもらうじかん  
時間もあります。

なん ひとり たいおう むずか げんかい じりつせいかつうんどう  
何でも、一人で対応することは、難しいですし、限界があります。自立生活運動に  
ね ぞうだんたいおう は じぶん でき まよ  
根ざした相談対応を、果たして自分は出来ているかなと迷ったとき、こうしたじかん  
時間はありがたいと思ひます。自分もまたがんばろうという気持ちになれます。たまにしか  
あ えな じりつせいかつ ひと あ うれ  
会えない、他の自立生活センターの人たちに会えることもとても嬉しいことです。



# ねん め さ が み は ら じ け ん つ い と う し ゅ う かい 3年目の相模原事件追悼集会

ひるかわ りょうこ  
蛭川 涼子



さ が み は ら し ゅ う かい ぜんたい ようす  
↑ 相模原集会 (全体) の様子

たいふう ごう かんとうおおあ よほう  
台風12号による関東大荒れが予報  
されていた2018年7月28日、第  
3回「ともに生きる社会」を考える  
かながわしゅうかい さんか よこはま  
神奈川集会に参加すべく、横浜まで  
行ってきました。

しょうご たいふう よこはま き  
正午、台風はまだ横浜までは来て  
いなかったの、濡れずに会場入り  
できました。台風の中わざわざ向  
かったのは、たいふう なか む  
神奈川集会の中、台風のなかわざわざ向  
かったのは、かんべ かねぶみ はなし  
神戸金史さんの話が  
き ちてきしょうがい  
聞きたかったからでした。知的障害

じへいしやうじ ちちおや もとまいにちしんぶんきしや げんざい あーるけーびーまいにちほうそうほうどうきしや しゅうかい  
/ 自閉症児の父親で、元毎日新聞記者で、現在はRKB毎日放送報道記者。集会の  
すうじつまえ め さがみはらじけんから き じ きょうみぶか かながわしゅうかい  
数日前に目にした相模原事件絡みのインタビュー記事が興味深く、神奈川集会のゲ  
ストになっていることに気づい  
てずぶぬれ覚悟で横浜まで行  
くことにしたのです。

いそが しごと りゆう しょうがい  
忙しい仕事を理由に、障害  
の理解も含めて妻に自分の  
むすこ よういく まか  
息子の養育を任せきりにして  
いた父親だったという神戸さん。  
ちちおや かんべ  
その彼が、さがみはらじけん  
かれ さがみはらじけん  
の直後、自分の心情を綴った  
ちよくご じぶん しんじやう つづ  
ある詩(注1)をフェイス  
あ ちゅうもく  
ブックに上げたことで注目を



だんじやう はな かんべ  
↑ 壇上で話す神戸さん

あびました。知的障害児の父親で、同時に記者という立場から相模原事件の加害者、  
植松容疑者との面会し、相模原事件とは何かを考え続ける姿勢に私は興味を持ちまし  
た。

講演は、神戸さんが植松容疑者と面会した時、息子さんが神戸さんを気遣う  
LINEメッセージをくれると言ったら驚いた話や、息子さんを被写体にしたドキュ  
メンタリー「うちの子～自閉症という障害を持って～」を制作するまでの話や制作中  
の家族の話、神戸さんで自身が感じたことなど、テンポ良く話が続き、最後にドキュ  
メンタリー映像（注2）も上映されました。

その後、CILくにたち援助為  
センターの篠原さん、ケアサポー  
ト袖代表の仲井さんに神戸さん、  
コーディネーターとして今村さん  
が登壇してパネルディスカッショ  
ンとなり、袖の仲井さんが、ドキュ  
メンタリーの中に出てきていた、  
ある母親が保育士から教えても  
らって勇気付けられたという詩に  
対して、「私はそうは思わない」と  
はっきり持論を話されていたのが印象的でした。



↑STEPの今村代表は司会で参加。

そう。詩もドキュメンタリー映像も色々な意見があると思います。私自身は先天性  
の障害児だったので、どれだけ真摯に向き合ってくれていても、健全者としての人生  
しかない親・大人が感じる障害感にどうしても軽く「もやっ」としたり、一方で子供  
の障害に正面から向き合おうとしている神戸さんが、自分の父親と違って「よかった」  
と心から思ったり。何にせよ知的障害/自閉症にそこまで詳しくない私にとっては、  
よい情報収集・勉強の場となりました。

それともうひとつ、津久井やまゆり園事件の被害者の保護者が、施設の行動記録を  
取り寄せてみたら、入所者にとって外出の機会は殆どなく、職員も少ないため一人パ  
ニックになれば他の人は放置も同然・・・本当に現実には「植松容疑者の言うとおり死ん

「だような生活」をしていたようだ、という報告も衝撃的でした。



施設は「入居者は穏やかに暮していた」と発表しています。「覇気のない」のポジティブな言い方が「穏やか」…。なるほど…。疲れた職員にとって、泣いたりわめいたりしないなら、その表情が死んだ目になっていたとしても「穏やか」と表現したくなる気もわから

ないでもないです。でも、やっぱりそれは違う。泣いてわめいて訴えたかったことが伝わらなくて、理解してもらえなくて、悲しくて諦めて、そして目に光がなくなる表情を、決して「穏やか」とは表現したくありません。だから変えなければいけないだろうな。その道のりが簡単でなくても。「死んだ目」を「穏やか」と言われてしまわないように。

(注1) 詩の全文は、ネット検索していただくか、書籍「障害を持つ息子へ～息子よそのままいい～」をご覧ください。

(注2) ドキュメンタリー映像は、TBS NEWS サイトで見られます！

<http://news.tbs.co.jp/special/index.html> または【TBS

ニュース 特選】で検索！

右⇒のQRコードでサイトに入ったら、下にスクロールして「うちの子」という動画を探してください。1～5に分かれています。



れんてい  
連載シリーズ  
すず

ぼりゆーむ  
vol.3

# 鈴音の手話コラム

たなか すずね  
田中 鈴音

## ～手話の歴史～

日本では 1878 年に日本初のろう学校が京都に設立され、そこで日本手話の原形というべき言語が生まれました。日本初のろう教育は、筆談や指文字、手話で行われていました。

しかし、ろう者が偏見を受けているのを見て、あるろう学校の先生が、ろうの子達にしゃべらせることにより社会に受け入れられる生徒を育てられないだろうかと考えました。当時、欧米では話している人の唇をみることによって話し言葉を読み取りその口形を真似して聴覚障害児（者）本人にも声を出させる、口話法の研究が盛んでした。その手法を日本にも取り入れ、ろう学校で一気に口話法が普及し、そのことにより手話は口話の防げになるとして禁止されました。しかし、ろう者が自らの言語を放棄したわけではなく、ろう者の中で手話は使われました。ろう者の運動によって現在、手話は言語として認められています。

私も小さいときに口話を習得しました。人と日常会話の中で話が通じたときは口話教育を受けてよかったと思うのですが、相手に伝わらなかつたりした時は何の為に口話を身につけたのだらうと思ってしまう。8年間訓練を受けてきた私にとっても口話だけで会話をするには限界があります。そこで必要になるのが手話。口話と比べて手話は間違いなく伝わるので私にとって手話でのコミュニケーションはストレスフリーです。手話が守られて来て良かった、そう実感しています。



聴者が良く使う「good!」というサイン、実は手話では「ダメ!」  
という意味になるのです。  
STEP に入りたての頃、みんなジェスチャーで  
「Good!Good!」と必死にやってくれていましたが、すごくダメ出しされている気分でした（苦笑）

とうきょう  
**東京バリアフリービーチ2018**  
 ~車椅子で海に行こう!~ in 葛西臨海公園  
 くるまいす うみ い いか りんかいこうえん



東京バリアフリービーチ2018  
 In 葛西臨海公園  
 車椅子で海に行こう

2018年8月5日(日)

定員10名：先着順完全予約制  
 参加申し込みについては下記にご連絡ください。  
 contact@bf-shonan.jp

日時：8月5日(日) 10時~17時  
 場所：葛西臨海公園 西なぎさ  
 多目的トイレあり

心のバリアフリーサポーター募集中!  
 ・バリアフリーゾーンの設置・開催中のサポート  
 ・全日参加できなくても構いません  
 ・医療、介護の知識がなくても大丈夫です。  
 ・ボランティア登録は09コードからお願いします。

主催：東京バリアフリービーチ実行委員会  
 問い合わせ先：contact@bf-shonan.jp (担当：松本彩)



海水浴かすいよくって車椅子くるまいすユーザーにはちょっとハードルたかが高い。  
 ちょっと考えたかんがだけでも、あれはどうする?この時ときどうする?  
 ……と不安ふあんは尽つきない。でもそんな不安ふあんを吹き飛ばとすイベントが催かいさいされました。

東京バリアフリービーチ 2018 in 葛西臨海公園いん かいりんかいこうえんとして2018年8月5日に臨海公園の橋を渡った先の砂浜で催され、このイベントにSTEPのスタッフと利用者さんりようしゃさんかで参加してきました。

海水浴かすいよくに車椅子くるまいすユーザーが行こうと考えた時、真まっ先さきに思おもいつくのは砂浜すなはまを車椅子で行けるのか!?ということ。  
 実は僕じつ ぼく、車椅子で砂浜へ行ってしまったことが何度かあります。ダメだおもなとは思ういつつ、海の綺麗うみ きれいさと好奇心こうきしんに勝かてなかった……でもキャスターやタイヤが砂に埋すなまってしまうって、全然動ぜんぜんけないんですね。しかもキャスターのベアリングに砂が入すな はいってしまい、普段でもジャリジャリとおおと音がしてスムーズまわに回まわらなくなり、やむなく交換こうかんした経験けいけんもあります。

しかし今回のイベントでは、砂浜すなはまに敷しくだけで車椅子でも難なんなく走行そうこうできる特殊とくしゆマット「モビマット」を用もちいていました。このマットは軽量けいりやうでかつ丈夫じやうぶなため、簡単かんたんに砂浜すなはまに設置せっちできるようです。実際に走じっさいってみましたが、手動車椅子しゆどうくるまいすでも電動車椅子でんどうくるまいすでも問題もんだいなく走はしることができました。このマットを何枚なんまいかつなげて波打ち際なみう ぎわの先さきの海うみまでくるまいす車椅子で行けるようにしていました。ちなみにこのマットはフランス製せいで、もともとは軍用ぐんやうらしく悪路あくろなどに使つかうものだそうです。そこそこお高たかいと言いっていました(\*\_\*;





そして座ったまま海まで入れてしまうビーチ用の  
 車椅子「ビーチスター」も用意されていました。  
 これが あることで体勢の保持が難しい方でも、  
 砂浜でこれに乗り換えそのまま海へ！！という感  
 じで行けちゃいます。タイヤは砂浜でも容易に走  
 れるように大きくなっていて、浮力もあるためそ  
 のままプカプカと浮いていられます。



移動の介助や海での誘導など、海水浴をするための  
 様々なサポートには、医療や介護などに携わる方なども  
 含む多くのボランティアさんがしてくださいました。



関係スタッフさんはこう仰っていました。ある日、  
 車椅子使用者の方と海のことを話していたそうで  
 す。この時にその方は、海は眺めるものだと言ってい  
 たそうです。その言葉に“はっ！”とし、自分は海は

入って遊ぶものだと思っていた。でもその方は、海に入  
 るには多くのハードルがあり眺めるものだとしか考えた  
 ことが無い。と言うようなことを言っていたようで、そ  
 れならば、そのハードルを一  
 つずつクリアしていけば良



いのでは…。と思ったのがこの企画を考えたいきっかけと  
 仰っていたのが印象に残っています。

車椅子で海水浴を楽しむには、まだまだ難しいことも  
 多いのかもしれませんが。しかしこのイベントを見ていると、  
 工夫次第で何とかするような気もしてきました。車椅子だ



から、障害があるからとあきらめている  
 ことはたくさんあります。こんな風にみんな  
 と一緒に楽しめるイベントが、もっと増えて  
 いったらいいなと思います。





# STEPの 夏休み自由研究

あこがれのひと  
にインタビュー!

くどう としこ  
工藤 登志子

突然ですが、みなさんは普段どこかへ出かけたい時に、どんな情報をどんな方法で調べますか？多くの方は、雑誌やインターネットを使ってグルメ、ショッピング、観光情報などを調べると思います。では、私たち障害者の場合はどうでしょう？実はそれらの情報と同じくらい（もしくはそれ以上に）必要な情報があるのです。それは、【そこに自分が行けるのかどうか】というバリアフリー情報です。残念ながら、ほとんどの旅行雑誌や旅行サイトを見ても、バリアフリー情報はあまり載っていません・・・。なので、障害者はいつもどこかへ行こうとする度に直接問い合わせなくてはならず、手間も時間もかかります。特に、最近増加している海外からの旅行者にとってはハードルの高い問題点となっています。

“もっと手軽にバリアフリー情報が見れるサイトがあると良いのになあ・・・”と常々思っていたのですが、なんと、ありました！それも、サイトを運営されているジョシュさんはSTEPのご近所さんではありませんか！ということで今回は夏休みの自由研究と題して、ジョシュさんにインタビューを行いました。インタビュアーは、ジョシュさんに憧れているという女子中学生レミちゃん♪さて、どんなお話が聞けたのでしょうか～？



## ☆ジョシュさんのプロフィール☆

名前：バリー・ジョシュア・グリズデイルさん。

ニックネームはジョシュさん。

カナダのトロント出身。高校時代に日本語を勉強し、18歳で初来日。現在は江戸川区内で働いている。

2015年に「**Accessible Japan** (<https://www.accessible-japan.com/>)」というサイトを立ち上げ、日本のバリアフリー情報を英語で全世界に発信している。

●質問：どうしてこのサイトを作ろうと思ったのですか？

ジョシュさん：

私は学生の頃に友達と東京から長崎までを旅したのですが、バリアフリー情報は全てでんわ かくにん 確認しないとイケなくて、とても大変でした。例えば、ホテルや観光地のサイトは日本語のページだとバリアフリー情報が載っていても、英語のページに切り替えるとそれらが全く載ってないんです。障害者の94%は旅行前にバリアフリー情報を調べるというデータがあるのですが、それによると、目的地がバリアフリーかどうかわからないと半分の人は行くのを諦めてしまうそうです。私は日本がとても好きなので、勿体ないことだと思いました。それがサイトを作ったきっかけです。

●質問：バリアフリー情報はどうやって集めているのですか？

ジョシュさん：

仕事が休みの土日等を使い、実際に自分が出かけて情報を集めています。また、知り合いがどこかへ旅行する時に頼んで調べてきてもらうこともあります。バリアフリーの情報交換が出来る掲示板もあるのですが、英語を話せる日本人も手伝ってくれています。



●質問：サイトを見た人からの反応はありますか？

ジョシュさん：

時々メッセージをもらうことがあります。この前はオーストラリアから来た家族に喜んでもらえました。あと、テレビ番組にも呼んでもらえるようになり、街で2回くらい声をかけられました（笑）

●質問：サイトに込める思いを聞かせてください。

ジョシュさん：

2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるので、東京の情報を増やして行きたいと考えています。

それと、バリアフリーは、やらなきゃいけないという義務的な考えではなくて、ピ

ジネスチャンスだと思っています。例えば私が新幹線に乗って旅行に行くとなると、一緒に行くヘルパーさんの分も切符を買いますし、現地での活動も全て倍のお金がかかります。障害者は健常者よりも長く滞在する傾向にあるので、その分たくさんのお金を使います。障害者でも行けるところが増え、その情報を得られやすくなれば、もっと外でお金を使う人が増えるはずですよ。

もう一つ面白いと思ったのは、私が初めて明治神宮に行った時は砂利道しかなく、車いすでは動きにくかったんですが、その後舗装された道が出来ました。すると、車いすユーザーだけでなくみんながその道を通るようになったんです（笑）つまり、バリアフリーは健常者にとってもメリットがあるんです。

今後は、バリアフリーツアーのマーケットが大きくなり、日本の経済を支えられるようになると良いなと思います。

### ◆◆◆インタビューを終えて◆◆◆

ジョシュさんのお話の中で印象的だったことは、“バリアフリーはビジネスチャンス”という言葉です。バリアフリーと聞くと、エレベーターを付けたり改修工事をしたり、お金がかかるイメージですが、むしろバリアフリーにすることでみんなが行きやすくなり、売り上げに貢献できてお店にとってもお客さんにとってもWIN-WINの関係が成り立つと思いました。この考え方は事業者との交渉にも役立てられそうです。インタビューをしたレミちゃんは、物怖じせずにスラスラと英語で会話していて、将来有望だなと思いました（^^）

インタビューを受けてくださったジョシュさん、どうもありがとうございました。



# 第28回リサイクルワールド・IN・東部 出店レポート

つちや みねかず  
土屋 峰和

9月16日(日)、江戸川区東部区民館の駐車場で開催された「第28回リサイクルワールド・IN・東部」にSTEPえどがわも出店させて頂きました。このバザーは「灼熱バザー」とも呼ばれるほど例年は暑くなる事が多いので、額損のスタッフが3人いるSTEPは出店するのに勇気が要りましたが、今年は快晴とはならず、曇り空でした。

それでも多くの人々が来場されており、江戸川区の名産品である小松菜の直売には長蛇の列が出来ていました。STEPえどがわが月1回(第2金曜日の13~15時)事務所前で開催しているSTEPっ子バザーとはまた違った雰囲気、おもちゃを買ってくれた人やヘルパー募集のチラシを受け取ってくれた人など、たくさんの人と交流することが出来ました。

ご来場頂いた方、ボランティアでお手伝いしてくださった方、ヘルパーのみなさん、どうもありがとうございました。





いまむら のぼる  
今村 登

7月27日、東京都議会にて「東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」が本会議で可決・成立しました。昨年1年間、全9回にわたる検討部会を経て意見が取りまとめられ、今年の6月22日の厚生委員会で審議され25日の厚生委員会で可決し、27日の本会議で成立となりました。施行は今年（2018年）の10月1日ですから、この会報が出る頃には施行されているはずです。

### <概要>

社会全体で障害者への理解を深め、差別を解消する取組を推進するため、条例を制定する。

#### 1. 障害を理由とする差別の禁止

- 都及び事業者の「不当な差別的取扱い」を禁止
- 都及び事業者の「合理的配慮の提供」を義務化

#### 2. 障害を理由とする差別に関する相談体制

広域支援相談員は障害を理由とする差別の解消に関する知識及び経験を有する者とし、以下の職務を行う。

- 障害者、家族、関係者及び事業者からの相談対応
- 区市町村支援（助言、調査、情報提供、関係者間の調整等）

#### 3. 障害を理由とする差別に関する紛争の防止又は解決のための体制

- 調整委員会を設置（附属機関）
- あつせん
- 勧告
- 公表

4. 情報保障の推進、言語としての手話の普及等共生社会実現のための基本的施策

5. 調整委員会委員の秘密保持義務違反に対する罰則

- ・1年以下の懲役又は50万円以下の罰金

施行期日

平成30年10月1日

前文と基本理念で障害のある女性の複合差別を無くすことが謳われたことや、合理的配慮が民間事業者も義務化されるなど、障害者差別解消法よりも一歩踏み込んだ条例となったことは大いに評価できると思います。

STEPえどがわとしても、早速この条例を活用して取り組みたい事例が2件あります。ひとつは「障害のある人をコンサートに招待する」といつつ、合理的配慮もなく車いすの人は申し込みできないという対応について。ふたつめは「雑居ビルの入り口段差解消拒否について」です。どちらも民間事業者が対象ですが、合理的配慮が義務になったので、最低でも話し合いに応じないということはできないはずなのです。

似たような事例は都内のあちらこちらで起きてくるでしょう。約1,300万人の人口である東京都において、広域相談員が4名だけで対応するとのことで、どこまで対応できるのか不安でもあり、他にもまだまだ改善すべき点はありますが、今後はこの条例を実際に活用して、話し合いを通じてより良い東京都にしていきたいと思います。





つちや みねかず  
土屋 峰和

少し前から音声認識の制度がかなり上がってきているなあと感じている。スマホでたまに使ってみたりするのですが、けっこうな精度で聞き取ってくれることにビックリだ。スマホだけではなく、部屋で使う Google Home などの「スマートスピーカ」と言われる製品も各社から発売され、少し前から気になっていました。

これは常時部屋に置いておいて、話しかけると答えてくれるもの。「いま何時？」や「今日の天気は？」など話しかけると答えてくれるのです。僕が意外に便利かなと思っっていることは、「今日のニュースは？」と聞くと、ニュースを流してくれること。最新ではなく数時間前のものだったりしますが、聞きたいときに聞けるのは便利です。

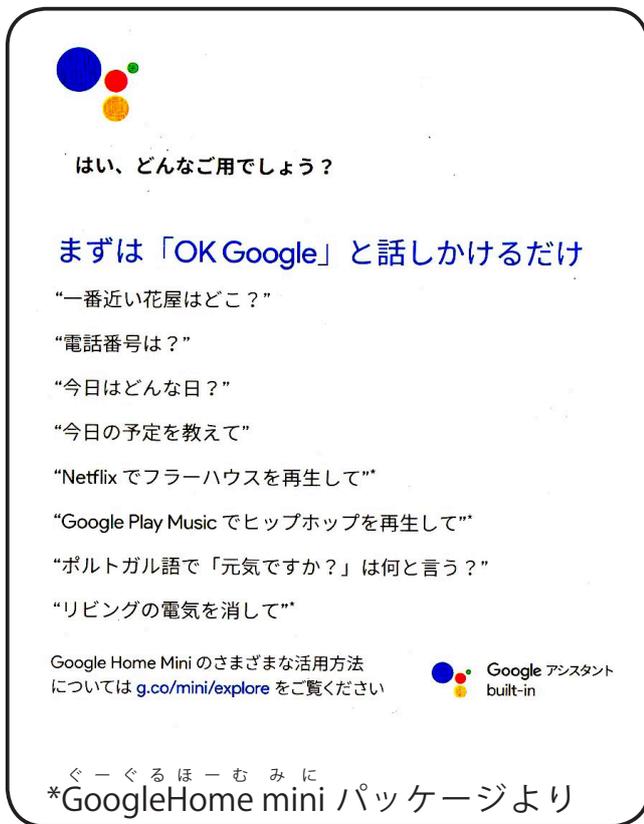
そして、このスマートスピーカと別製品の「スマート家電コントローラ」を組み合わせることで、音声によるリモコン操作ができるようになることも気になっていました。

細かいことを書くとややこしくなってしまうので簡単に言うと、「ねえ (OK) Google、電気をつけて」と言うと部屋の電気がついちゃうのです。他にも操作できる家電としては、テレビ、エアコン、扇風機などがあります。これらの細かい操作を音声で操るのはそれなりにコツが必要になるのですが、簡単に「つけて」や「消して」ができるだけでも、僕的にはとても便利に感じています。テレビはチャンネルや音量くらいなら、わりと簡単に操作できます。



たとえば、家に帰ってきて真っ暗の中、電気のリモコンを探すことなく「ねえ Google、電気をつけて」というとつけてくれるのです。さらに「ルーティン」という機能を使うと、たとえば「ねえ Google、ただいま」と言うと、登録してある家電を複数操作すること

ができます。僕の場合は、「ただいま」で、部屋の電気とテレビがつくように設定しました。けっこう便利です。



はい、どんなご用でしょうか？

まずは「OK Google」と話しかけるだけ

“一番近い花屋はどこ？”

“電話番号は？”

“今日はどんな日？”

“今日の予定を教えてください”

“Netflix でフラワーハウスを再生して”

“Google Play Music でヒップホップを再生して”

“ポルトガル語で「元気ですか？」は何と言う？”

“リビングの電気を消して”

Google Home Mini のさまざまな活用方法  
については [g.co/mini/explore](https://g.co/mini/explore) をご覧ください

Google アシスタント  
built-in

ぐーぐるほーむみに  
\*GoogleHome mini パッケージより

もう一つ便利かなと思えることは、スマート家電コントローラ単体での機能として、リモコンのある家電の多くはスマホで操作できるようになることです。僕の場合、テーブルにいくつものリモコンが置いてあり、操作する場合はリモコンを探して押すという動作が必要になります。それがスマホにリモコンをまとめることができるため、どの家電でもスマホから操作できます（機能限定）。リモコンとスマホのどちらからでも操作可能となり、リモコンがちょっと届かない位置にあったときに便利です。

このリモコンは外（外出時）からでも操作できる機能もあります。本体にはセン

センサーが内蔵されていて、スマホには室温や湿度、照度（明るさ）も表示されます。帰宅前に部屋の温度を確認し暑かったらエアコンをつけておく、というようなこともできます。ペットを飼っているお宅などでも使えそうな機能かなという感じです。他にも対応のユニットを取り付ければ、カーテンの開閉もできるようです。

こんな感じで操作できるようになったことで、かなり利便性が上がったように感じています。特に音声で操作できるメリットは、手の不自由な僕にとってかなり便利です。今はリビングで使っているのですが、寝室にあってもいいかと思っています。それは布団をかけた状態から、いろいろな操作することはけっこう大変な動作だから。布団をかけた状態から、「電気をつけて」や「エアコンをつけて」などが音声で操作できると便利かなと思うのです。部屋が暗い時に「今何時？」なども聞けちゃうし。

このくらいのことができるのと、ちょっとした環境制御装置としても使えそうな気がします。もちろんいろいろなポイントはありますが、それらがクリアできれば使ってみる価値は十分あるように思います。

そのメリットの一つは値段です。環境制御装置の種類はいくつかあるにせよ、とても高価です。それがこの2製品だと通常1万数千円です。僕はとある電気店でセット

こうにゆう ちゆう こうにゆう  
購入キャンペーン中に購入したため、1万円でおつりがきました。

これら二つの製品を使ってみて感じたことは、それなりにコツが必要かなということ。話しかけ方にも少しコツが必要です。最初の導入も必ず設定が必要になります。設定にはスマホを使うのですが、僕にはややわかりにくい部分もありました。また、大前提として自宅にWi-Fi環境が必要なこと。Wi-Fiがないと使えません。まずはこの設定が最初のハードルかも知れません。

しかしこれらが設定できればとても便利に使えます。ちょっとした近未来感を味わえるかも。音声で家電の操作ができるこの感じ、面白いですよ。最近、独り言が増えたかも… (Google がいちおう答えてくれるから、独り言じゃないか (^\_^;) )。今後も対応機器が増えていくと思われるので、目が離せません。

## 小さくても便利

Google Home Mini は Google アシスタントをお使いいただけます。調べ物をしたいときやタスク管理をしたいときに、話しかけてください。どの部屋でもハンズフリーで、手間なく簡単にサポートできます。

### 調べ物ができる

わからないことや知りたいことは、Google を利用して解決できます。

### 日々のあらゆる場面で役立つ

アラームやリマインダーを設定したり、通勤について必要な情報を調べたり、最新情報を入手したり、さまざまなことができます。

### お気に入りのエンターテインメントを楽しめる

音声操作で、お気に入りの音楽を再生したり、テレビ番組を視聴したりできます。\*

### スマートホームを音声で操作できる

対応しているスマートライトなどを簡単にコントロールできます。\*

Google

ぐーぐるほーむみに  
\*Google Home mini パッケージより

福祉機器・介護用品・住宅改造のお問い合わせは  
お気軽に当店まで！ 自社工場完備で修理・改造がすぐ！

— 福祉機器のトータルプランナー —

有限会社 **パムック**



江戸川区南篠崎町 2-16-2 第2相栄ビル 3F  
(レンタル車いす・車いす保険も取扱っております)

**TEL 03(5666)4801 | FAX 03(5666)4802**

# 追悼・良元竜次さん

いまむら のぼる  
今村 登

はじめて良元さんと会話ししたのは、確か2001年だった。当時私は体験ルーム「Yattemi-Na」を有限会社の一事業としてやっていて、その営業のためにチラシを持って電車に乗った時に偶然居合わせたのが彼と丸田さんだった。それまで瑞江の街で二人の姿をそれぞれ別々に見かけたことはあったが、二人同時に直接言葉を交わしたのはこれが最初だったと思う。

「こんにちは、今村と申します。実はいま、こういうこと始めていまして・・・」と、1泊2万円の体験ルームのチラシを手にとった良元さんは、笑みを浮かべて「面白そうだけど、こりや高すぎるよ！」

「ですよねえ（苦笑）」と私。

確かそんな内容の会話が、良元さんとの出会いだった。

その後、幾度となく良元 & 丸田邸にお邪魔して、お互いにやってみたい話を話そうになり、2002年になって私は「Yattemi-Na」を閉じ、良元さん・丸田さんと共に何かやってみようかと意見交換を積み重ねていった。共通する思いは、「それぞれの経験を活かして、障害者の支援をしたい」というものだった。ある時、「どうやら、俺らがやろうとしていることは、既に自立生活センターというところがある

ようだ。その総本山が八王子にあるらしい」との情報を入手。そうして2002年の秋、良元さんと私で八王子のヒューマンケア協会を訪問したところ、JILでは翌年からの支援費制度施行に併せて、全国各地で「自立生活センター立ち上げ支援キャンペーン」の真ただ中だった。「江戸川区にはまだCILがないから、君達が本気でやる気なら応援するよ。やるか？」と中西代表からのお言葉に、二つ返事で「やります！よろしくお願ひします！」と答えたのが、自立生活センターSTEP えどがわが誕生する元となった。まさに良い元である。



その後、当時私の自薦ヘルパーであった市川さんが仲間に加わり（引き込み）、良元、丸田、今村、市川の4人で事業所開設前から開設後も、何度も何度も良元邸で意見を交わし続けた。幾度となく意見が対立し、険悪なムードになることもしばしば。ただ、良い意味で自分のことは棚に上げ、無理難題を臆せず突きつけてくる破天荒さには、「ほんと、この偏屈オヤジ（同い年だけど）には困ったな」なんて思いつつも、どこか憎めないお茶目さと、人を惹きつけるある種のカリスマ性を感じていた。そして何より、知らず知らずのうちに問題を直視して向き合う事を鍛えられていたと思う。

晩年は残念な形で別々の道を歩むことになったが、良元さんとの出会いがなければSTEP えどがわは誕生していなかったことは確かである。また当事者主体を植え付けてくれたのもまた彼である。様々な形でSTEP えどがわの礎を築き鍛え上げてくれた良元さんの早すぎる訃報は、3ヶ月経った今も未だ実感がわからない。頭では理解しているのだが、心が頭ほどには追いついていない。そのせいだろうか、亡くなってから3ヶ月ほど経つというのに、ほぼ毎日良元さんのことを思い出したり考えたりしている。きっとあの世に逝ってもなお「今村め！STEPめ！」と思ってるんだろうな。でも感謝して居るんだよ俺はさ。他にも同じような気持ちの人は多く居ると思う。

出会ってくれたこと、一緒にSTEP えどがわを立ち上げてくれたこと、当事者主体を植え付けてくれたこと、鍛え上げてくれたこと、諸々本当にありがとう！いずれあの世で再会した時は、無視しないでね(^\_^;)





# かい ぶん ぼ いたう 会員募集

すてっぶ えどがわは、すてっぶ ポリシーとすてっぶ くん もと しょうがいしゃ  
じりつせいかつ かなか さまざま もんだい と く ひいては ちいき ね  
の自立生活に係わる様々な問題に取り組み、ひいては地域に根ざした  
しゃかいこうけんだんたい め ぞ  
社会貢献団体になることを目指しています。

つきましては、とうほうじん かつどうしゆし さんどう みなさま かいいん せい  
さんじよ とも じりつせいかつ すてっぶ ささ  
賛助)になっていただき、共に自立生活センターSTEP えどがわを支え、  
そだ くだ なかま ぼしゆう  
育てて下さる仲間を募集します。

せいかいいん せいかいいん とうほうじん ていかん さだ そうかい さんか  
正会員 (正会員は、当法人の定款に定めた総会に参加できます)

- とうろくりよう えん にゆうかいじ  
・登録料 5,000 円 (入会時のみ)
- かいひ えん ねん  
・会費 5,000 円/年

かいいん さんじよかいいん  
サポーター会員 (賛助会員)

- こじん くち えん ねん くちいじょう  
・個人 1口 3,000 円/年 (1口以上)
- だんたい ほうじん くち えん ねん くちいじょう  
・団体・法人 1口 10,000 円/年 (1口以上)

かいいん とうほうじん かんこうぶつ あんない とう そうふいた  
会員には、当法人の刊行物、イベント案内チラシ等を送付致します。

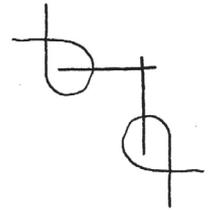
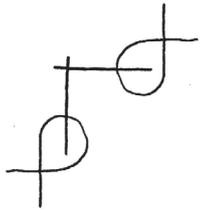
かいひのうにゆうさき  
会費納入先

ゆうびんふりかえ じりつせいかつ  
<郵便振替> 自立生活センターステップえどがわ No.00110-0-579238

ぎんこうこうざ とくていひえいりかつどうほうじんじりつせいかつ  
<銀行口座> 特定非営利活動法人自立生活センターステップえどがわ

みつびしゆーえふじえーぎんこう みずえしてん ふつう  
三菱UFJ銀行 瑞江支店 普通 0548550





# 編集後記

へんしゅうこうき



「犬はバカな方がかわいいんだ！」という父の教<sup>ちち</sup>え<sup>おし</sup>を紹介<sup>しょうかい</sup>した前<sup>ぜん</sup>号<sup>ごう</sup>。  
ある日<sup>にち</sup>曜<sup>よう</sup>の朝<sup>あさ</sup>、公園<sup>こうえん</sup>に到着<sup>とうちやく</sup>するやいなや、おバカまる子<sup>こ</sup>は「ハッ  
ホウ！」と急<sup>きゆう</sup>ダッシュ。勢<sup>いきお</sup>いで私<sup>わたし</sup>の手<sup>て</sup>からリ<sup>り</sup>ード<sup>ど</sup>が落<sup>お</sup>ち、「まる子<sup>こ</sup>、  
マテ！」の声<sup>こえ</sup>もむなしく、あつという間<sup>あいだ</sup>にまる子<sup>こ</sup>の姿<sup>すがた</sup>は見<sup>み</sup>えなくな  
りました。「まる子<sup>こ</sup>お〜」と半<sup>はん</sup>ベツ<sup>べつ</sup>で街<sup>まち</sup>中<sup>なか</sup>を探<sup>さが</sup>し駅<sup>えき</sup>前<sup>まえ</sup>交<sup>ま</sup>番<sup>ばん</sup>へゆくと、  
奥<sup>おく</sup>の部<sup>へ</sup>屋<sup>や</sup>からオマワリさん<sup>さん</sup>に引<sup>ひ</sup>き連<sup>つ</sup>れられまる子<sup>こ</sup>がドヤ顔<sup>かお</sup>で登<sup>とう</sup>場<sup>じょう</sup>  
(写真<sup>しゃしん</sup>)。今<sup>こん</sup>後<sup>ご</sup>も江<sup>え</sup>戸<sup>ど</sup>川<sup>がわ</sup>イ<sup>い</sup>チ<sup>ち</sup>のおバカ<sup>いぬ</sup>犬<sup>め</sup>を自<sup>じ</sup>指<sup>め</sup>します・・・。

へんしゅう  
編集 :

とうきょうとしていきたくしえんじぎょうしゃ  
**東京都指定居宅支援事業者**  
とくていひえいり かつどうほうじん えぬぴーおーほうじん  
**特定非営利活動法人(NPO法人)**  
自立生活 **センターSTEP** えどがわ  
じりつせいかつ すてっぶ

〒133-0065 とうきょうとえどがわくみなみしのぎまち  
東京都江戸川区南篠崎町3-9-7  
でんわ ふあつくす  
TEL 03-3676-7422 FAX 03-3676-7425  
うえぶ  
WEB <http://www.step-edogawa.com/>  
めーる  
E-mail main@step-edogawa.com

